

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容

- 

分解・改造はしないでください。
思わぬ事故の原因になることがあります。
- 

電源コンセントの表示容量（ワット）を超える電気製品を使用しないでください。
発熱により火災の原因になることがあります。
- 

加熱機器の上やまわりに燃えるものを絶対に置かないでください。
スイッチの切り忘れなどにより着火し、火災の原因になることがあります。
- 

キャビネット内部では、オーブントースターなどの電気製品を使用しないでください。
商品の故障や火災の原因になることがあります。
- 

加熱機器にて鍋や鉄板をご使用の際は、ワークトップにはみださないでください。
ワークトップが加熱し、火災の原因になることがあります。
- 

加熱機器の使用後や外出のときは、スイッチが「切」になっていることを確かめてください。
周囲の可燃物に着火し、火災の原因になることがあります。
- 

組込まれる電気製品・加熱機器・レンジフード・その他機器については、各取扱説明書および本体の表示事項をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。
- 

加熱機器下への収納は、ガス栓・配管に物をぶつけたり、ひっかけたりしないよう注意してください。
ガス栓・配管が破損し、ガス漏れの原因になることがあります。
- 

シンク下への収納は、排水器具・配管に物をぶつけたり、ひっかけたりしないよう注意してください。
排水器具が破損し、漏水の原因になることがあります。



禁止



実行



注意

お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。



注意

「傷害を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容



設置機器のアースは確実に取付けてください。
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。



扉・パネルの角が鋭利なデザインのため、身体をぶつけないよう注意してください。
ケガをするおそれがあります。



固形または粉末の塩素系洗剤・漂白剤・ヌメリ取り剤は、使ったり近づけたりしないでください。
水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレスなどの金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。



混合水栓をご使用の際は、必ず水から出してください。
やけどをするおそれがあります。



扉の開閉時、丁番にさわらないでください。
ケガをするおそれがあります。特に小さなお子さまには注意してください。



扉などに水がかかったり、食器洗浄機の排熱により結露したときは、すみやかに拭き取ってください。



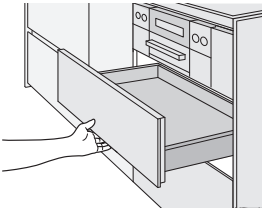
引出しは一段ずつ開閉し、すべての引出しを引出した状態にしないでください。



レンジフード・キャビネット・ワークトップに頭をぶつけないよう注意してください。
ケガをするおそれがあります。



引出しは中央付近を持って開閉してください。加熱機器グリル下の引出しは、引出しの下側中央付近を持って開閉してください。



ステンレスは湿気や汚れを付着したまま放置すると、サビが発生するおそれがあります。こまめにお手入れしてください。



加熱機器の使用・使用後は、機器周辺に直接手を触れないでください。
やけどをするおそれがあります。



てんぷら油や熱湯を、直接排水口に流さないでください。
排水器具などが変形し、水漏れの原因になることがあります。



ワークトップに乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
破損やケガをするおそれがあります。



扉や引出しにぶら下がったり、大きく開けすぎたりしないでください。
破損やケガをするおそれがあります。



扉が傾いたりガタついたときは、丁番のねじを締めなおしてください。
破損やケガをするおそれがあります。



引出しには乗らないでください。
落下し、ケガをするおそれがあります。



棚板や引出しに規定重量以上の物を入れないでください。
商品の歪み・破損・落下の原因になることがあります。



扉・引出しの開閉時、手足をぶつけないよう注意してください。
ケガをするおそれがあります。



棚受け（ダボ）は確実に奥まで差し込んでください。
落下し、ケガをするおそれがあります。



引出しや扉は重量のある商品のため、取外しの際は十分注意してください。
ケガをするおそれがあります。



深型食洗機下部の扉および輸入食洗機下部の扉は、取外しも収納もできません。

1 各部の名称

◎ジオーラ

ウォール型

加熱機器

水栓金具

シンク

エンドパネル

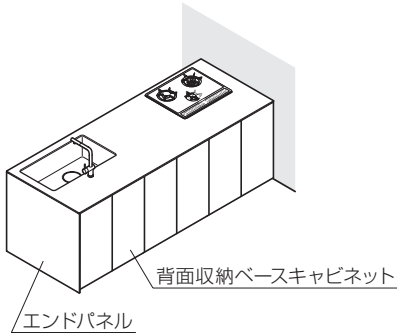
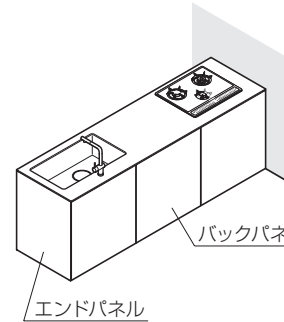
ワークトップ

ベースキャビネット

アイランド・ペニンシュラ型

〈スタンダードタイプ（バックパネルタイプ）〉

〈背面収納タイプ〉



耐荷重については、下記の重量をお守りください。

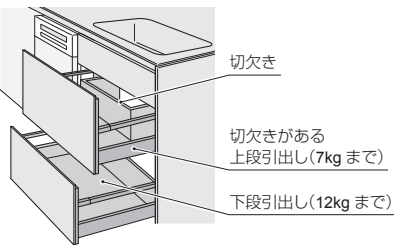
・棚板（底板）1枚につき 8kg まで

・上段引出し（切欠きあり） 7kg まで

・上段引出し（切欠きなし） 12kg まで

・下段引出し 12kg まで

※引出しごとの耐荷重は右図をご参照ください。



切欠き

切欠きがある
上段引出し(7kg まで)

下段引出し(12kg まで)

2 お手入れ方法

■ワークトップ・シンク・扉表面のお手入れ

《通常のお手入れ》

水を含んだ布またはスポンジで水拭きしたあと、乾いた布でから拭きしてください。

※ 水あかの原因になるため、水滴は残さないようにしてください。

※ 湿気や汚れを付着したまま放置すると、サビが発生するおそれがあります。

《汚れているとき》

① 布またはスポンジに台所用中性洗剤を付けて、汚れを落としてください。

② 水を含んだ布で洗剤を拭き取り、乾いた布でから拭きしてください。

※ ひどい汚れや落ちにくい汚れは、台所用液体クレンザーを付けて磨いてください。
その際、強くこするとキズがつくおそれがあります。



- 鍋・陶磁器など硬く重いものを、ワークトップに落としたり引きずったりしないでください。（キズ・へこみ・割れ・カケが発生するおそれがあります）
- 万が一、ワークトップや扉のタイルに割れ・カケが発生した場合は、破損箇所の破片に触らないでください。（ケガをするおそれがあります）
- ぬれたままの包丁・缶詰などの金属製品を長時間のせたまにしないでください。（サビがうつる『もらいサビ』がでるおそれがあります）
- 金属たわしや粒子の粗い粉末クレンザーなどを使用しないでください。（キズがつくおそれがあります）
- シンクに粘度のあるものや油を流さないでください。
- 酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤や漂白剤、ヌメリ取り剤は使用しないでください。（ステンレスなどの金属やゴムの腐食・劣化の原因になります）



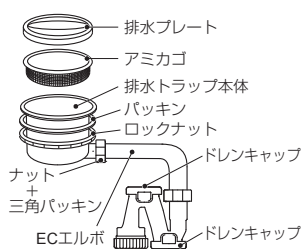
- ワークトップには熱い鍋など（180℃未満）を直接置くこともできますが、鍋敷きなどのご使用を推奨します。また、長時間置くことは避けてください。（置いた箇所が高温になり、やけどの危険性があります）
- ワークトップ上での包丁など刃物使用時はまな板をご使用ください。（ワークトップは金属製の包丁でキズがつくことはほとんどありませんが、包丁の刃が悪くなる可能性があります。また包丁の材質によってはワークトップにキズがつく可能性もあります）
- 油・煮こぼれ・調味料の汚れは、すぐに水拭きしてください。（サビ・変色の原因になります）
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤・塗料・マニキュアの除光液・インク・毛染剤・うがい薬（ヨード系）などが付着したときは、すぐに拭き取ってください。（ワークトップをいためる原因になります）
- ワークトップ前面に衣類を接触移動しないでください。（摩擦により衣類が破れるおそれがあります。エプロンなどの着用をおすすめします）

■排水トラップのお手入れ

アミカゴ・フタなどは、お湯か台所用中性洗剤を付けたスポンジでこまめに洗ってください。

《汚れているとき》

排水が詰まったり、流れにくくなったときは、トラップのドレンキャップを開けて掃除してください。掃除後、ドレンキャップを閉めて水漏れ等がないか確認してください。



- 酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤や漂白剤、ヌメリ取り剤は使用しないでください。（ステンレスなどの金属やゴムの腐食・劣化の原因になります）



- ゴミはこまめに捨ててください。（悪臭の発生や水詰まりの原因になります）

■キャビネット・扉裏面のお手入れ

《通常のお手入れ》

乾いた布でから拭きしてください。

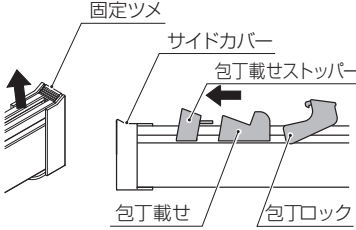
《汚れているとき》

- ① 布またはスポンジに薄めた台所用中性洗剤をつけて、汚れを落としてください。
- ② 水を含んだ布で洗剤を拭き取り、乾いた布でから拭きしてください。
- ③ 隅にたまったゴミはブラシで取り除いてください。

- キャビネットや扉に付着した油汚れなどを取り除くときは、強くこすらないでください。
(キズや光沢変化の原因になります)
- 油・調味料・食品の汚れを放置しないでください。
(サビやかびの原因になります)
- キャビネットや扉が水で濡れたときは、すみやかに拭き取ってください。
(ふくれやはがれの原因になります)

■包丁差しのお手入れ

- ① 収納している包丁は全て取外し、サイドカバーにある固定ツメを開きながら包丁差し本体を上を持ち上げて外してください。
- ② 包丁載せ、包丁載せストッパー、包丁ロックを本体からスライドさせて取外します。中性洗剤をつけた柔らかい布やスポンジで汚れを落とし、乾いた布でから拭きしてください。



3 各部の調整

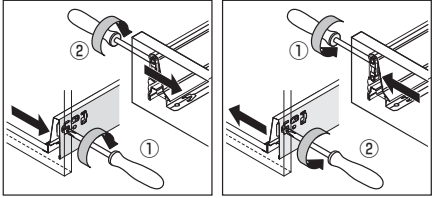
※ 深型食洗機下部の扉および輸入食洗機下部の扉は調整できません。

《引出しレールの調整》

- 左右調整をする場合は、引出し裏にある引出し前板と底板を連結しているL金具のねじを緩めてから調整してください。
- ※ 調整後はL金具のねじを必ず締め付けてください。
- ※ L金具は付いていない場合もあります。

- 左右調整、上下調整の作業前にはレール横のカバーを外し、作業後にはカバーを取付けてください。

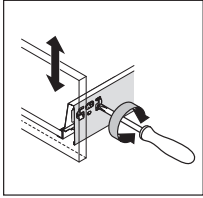
● 左右調整



右へ1mm

左へ1mm

● 上下調整

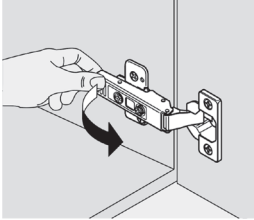


上下調整 ±2mm

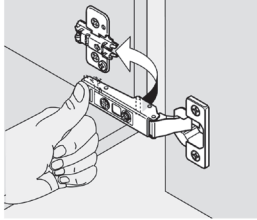


《丁番の取外し・取付け方法》

● 取外し方



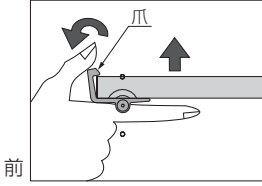
● 取付け方



《棚受金具の取外し・取付け方法》

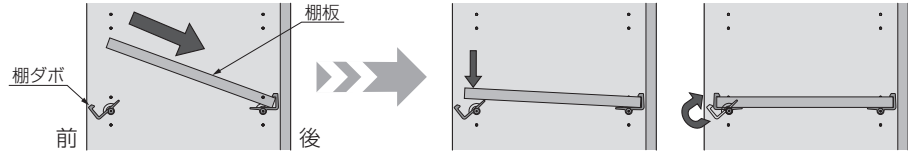
● 取外し方

- ① 棚ダボの爪を手前に倒し、棚板を持ち上げてください。
- ② 棚板を斜め上前方に引き抜いてください。



● 取付け方

- ① あらかじめダボ穴に棚ダボを取付けておき、奥側の棚ダボに棚板を入れてください。
- ② 上側から棚板をはめ込んでください。



《背面収納扉のプッシュラッチの調整》

微調整が必要な場合は、プッシュラッチの先端部を引出した状態で左右にまわして、飛出し代を調整してください。

- ・ 左へまわす：飛出し代が大きくなる (+ 4mm)
- ・ 右へまわす：飛出し代が小さくなる (- 1mm)



《包丁差しの使い方》

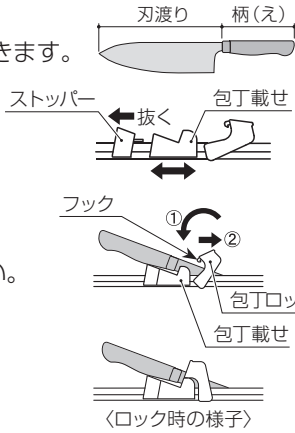
- ・ 刃渡り 17cm、柄(え)の長さ 15cm までの包丁が収納できます。
- ・ 収納できる包丁の本数：4 本
- ・ 前後反転することで左右勝手の切り替えが可能です。

● 包丁載せ位置の調整方法

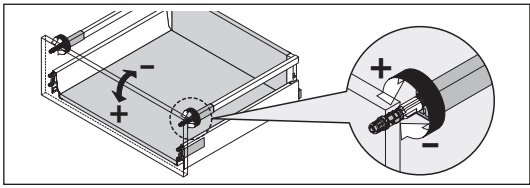
ストッパーを包丁載せから抜いて、包丁載せ位置を調整してください。

● キズロックの使い方

- ① 包丁ロックのフック部を包丁載せの穴に入れてください。
- ② 矢印の方向へスライドさせてください。
- ※ ロックの解除は逆の手順で行ってください。

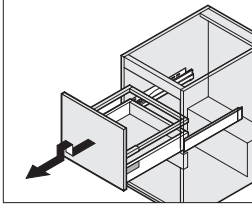


● 前板の傾き調整



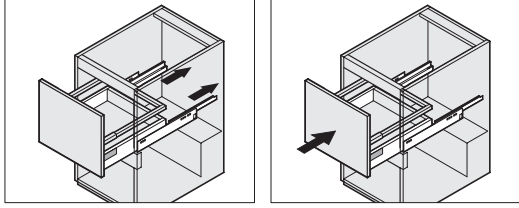
《引出しの外し方・入れ方》

● 引出しの外し方



引出しを全開にし、少し上に持ち上げながら引いてください。

● 引出しの入れ方



“カチャ”という音で引出しが正しく入ったかどうか確認できます。

《グリル脇小引出しレールの調整》

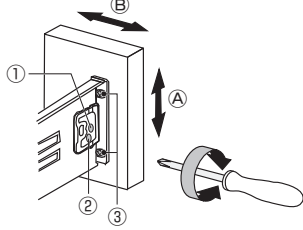
微調整が必要な場合は、右図を参考にねじをまわして調整してください。

① 高さ調整 (± 1.5mm)

ねじ①を緩めて偏心ねじ②で高さ調整します。調整後はねじ①を締めて固定します。

② 左右調整 (± 1.5mm)

ねじ③を緩めて前板を左右調整します。調整後はねじ③を締めて固定します。



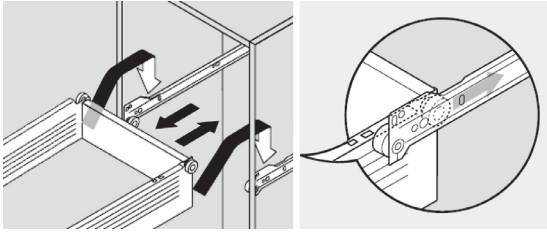
《グリル脇小引出しの外し方・入れ方》

● 引出しの外し方

引出しを全開にし、少し上に持ち上げながら引いてください。

● 引出しの入れ方

引出しを少し上に持ち上げながらレールに入れてください。



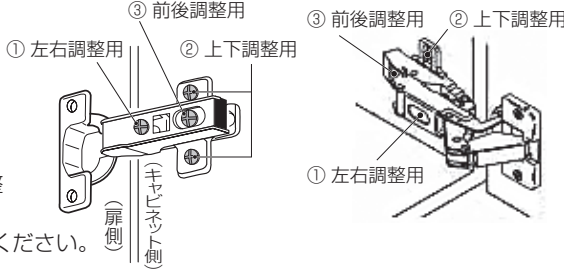
《背面収納丁番の調整》

微調整が必要な場合は、

丁番のねじ①②③を

まわして調整してください。

- ・ 左右調整：①のねじをまわす
- ・ 上下調整：②のねじを緩めて調整
- ・ 前後調整：③のねじをまわす
- ※ ①②③以外のねじはさわらないでください。



4 アフターサービス

保証書				
品 名	ジオーラ			お名前 様
保証期間	お買い上げ日から 3 年			
お買い上げ日	年	月	日	お客様 ご住所
工事店	店 名			電 話
	電 話			
※上記はお客様でご記入をお願いいたします（サービスを依頼される際にお役に立ちます）				
1. 正常なご使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無償にて修理または部品を送付いたします。 2. 保証期間内でも、次の場合は有償扱いとなります。 ア) 使用上の誤りおよび不当な修理や設置による故障および損傷 イ) 正しい使用方法をお守りいただけなかった場合の故障および損傷 ウ) 弊社以外の組立設置における、組立設置時の不注意または過失による故障および損傷 エ) 弊社以外の組立設置において、組立設置資料どおりに取り付けを行わなかった場合や、分解・改造などに起因する不具合 オ) 設置床面の凹凸に起因する不良や、それに伴うメンテナンス作業（扉の丁番調整など） カ) 本来の目的以外の用途や一般家庭以外（例：車両・船舶への搭載、業務用など）に使用した場合の故障 キ) お買い上げ後の取付場所の移動による故障および損傷 ク) 天災地変など不可抗力による故障および損傷 ケ) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）および外部ノイズなどに起因する不具合 コ) 消耗部品（照明の管球・グローランプ・パッキン・カートリッジなど）の劣化に伴う故障および損傷 サ) 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など商品本体以外の不具合に起因する商品の不具合および表面仕上げの色あせなどの経年変化、または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合 シ) 砂やゴミ、給水・給湯配管のサビなど、異物流入および水あかの固着に起因する不具合 ス) 海岸付近や温泉地など、地域における腐食性の空気環境・公害に起因する不具合 セ) 温泉水や井戸水など、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を供給したことによる不具合 ソ) 汚れやメッキ部品のサビ・カビなど、通常のお手入れ不足による不具合 タ) ねずみ・昆虫など動物の行為に起因する不具合 チ) 凍結による故障および損傷 ツ) 材料の性質上生じるもの（木・石など自然素材を使用したもの、または自然の風合いを狙った商品の微妙な色目や表面状態のばらつきなど） テ) タバコの火、商品を傷める薬品（有機溶剤・塩素系洗剤・強酸・強アルカリなど）の使用により発生した損傷 ト) 硫黄やアルカリ分を含む入浴剤による損傷 ナ) 建物完成後、入居までの間に管理などの不備により生じたもの ニ) 仕上げキズなどで引き渡し時にお申し出がなかったもの ヌ) 保証書の提示が無い場合 ネ) 保証書にご購入者様情報やお買い上げ年月日など必要事項の記入の無い場合、あるいは字句が書き替えられた場合 ノ) 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行う場合の出張に要する実費 3. 本書は日本国内においてのみ有効です。 4. 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。				

廃棄処分について

廃棄の処分の際は、必ず専門業者に依頼してください。

ホルムアルデヒド発散区分

1	商品名	システムキッチン	6	ホルムアルデヒド 発散材料区分詳細	PB MDF 合板 接着剤	F☆☆☆☆ F☆☆☆☆ F☆☆☆☆ F☆☆☆☆
2	製造企業名	株式会社 ミラタップ				
3	ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ、下地部分共に F☆☆☆☆				
4	表示ルール	「住宅部品表示 ガイドライン」				
5	製造番号および年月日	キャビネット本体に貼付の検査証によりご確認ください。				

miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

- お客様相談センター 受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。
https://www.miratap.co.jp
TEL：0120-468-838 FAX：0120-382-096

